

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第5回運営委員会議事要旨（案）

- 1 日時：平成31年3月26日(火)14時30分～15時10分（台湾時間）
- 2 場所：NCDR（台湾）
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、清水（副会長、Skype出席）、佐波、飯野、見目（長瀬委員の代理）、中島、緒方、Li、遠藤
陪席者：平岡（セコム）、前田（大日本印刷）、Qiao（スリーエム ジャパン）、真城（DRI ジャパン）、竹下（産業技術総合研究所）、前山（防災科学技術研究所）、石濱（筑波大学）
その他：鈴木（筑波大学）、岡島（〃）、梅本（〃）、高安（〃）、衛（〃）、鈴木（〃）、佐久間（〃）、松原（〃）（敬称略）
- 4 議事

【審議】

- (1) 平成31年度コンソーシアム活動計画について（資料2,3）
遠藤委員より、資料2,3に基づき、総会・運営委員会・シンポジウムの日時と場所の案について説明があり、承認された。なお、共同シンポジウム等今後のイベント参画の考え方については、種々意見交換の結果、次のとおり確認された。
✓ リスク・レジリエンス分野と関連があり、研究と教育の両面を視野に入れているものに積極的に参画。
- (2) その他
なし

【報告】

- (1) 第6回幹事会（H31.2.12）について（資料4）
遠藤委員より、資料4に基づき、第6回幹事会について報告があった。
- (2) 2019年度客員教員・非常勤講師について（回収資料1,2）
遠藤委員より、回収資料1,2に基づき、2019年度客員教員・非常勤講師の一覧と担当科目名等について報告があった。なお、次の補足説明があった。
✓ 客員教員・非常勤講師、科目、領域を追加する希望や提案があれば、事務局までお申し出いただきたい。
✓ 回収資料1,2以外にNCDRから科目の提案を受けており、現在調整中。
また、次の質疑応答があった。
✓ 一部客員教員・非常勤講師の所属に誤記がある。
→事務局で修正。
✓ 客員教員の手続きは毎年度必要か。
→履歴等が変わらなければ継続任用可。なお、2020年度は客員教員から協働大学院教員に職名変更予定。

(3) インターンシッププログラム参画機関について（資料 5）

遠藤委員より、資料 5 に基づき、インターンシッププログラム参画機関、種別、時期等について報告があった。なお、次の補足説明があった。

✓ 本インターンシッププログラムは技術研修と同様の性格のものを想定しており、就職との関係の有無についても柔軟に対応可能。

(4) 筑波会議について（資料 6, 7）

遠藤委員より、資料 6, 7 に基づき、筑波大学が中心となって全国規模で展開する筑波会議に、本コンソーシアムの防災科研・セコム・筑波大学・NCDR が協働してサブセッションを提供する旨説明があった。なお、次の依頼があった。

✓ 筑波会議への協賛(p.17) について検討いただきたい。筑波会議の趣旨については、後日事務局より情報共有。

(5) 共同研究について（資料 8, 9）

林会長より、資料 8, 9 に基づき、本コンソーシアムが参画する防災減災連携研究ハブの会議議事録、規約、学術大型研究計画への申請、防災推進国民大会 2019 へのセッション提案について報告があった。

(6) リスク・レジリエンスセミナーについて（資料 10）

Li 委員より、資料 10 に基づき、リスク・レジリエンスセミナーの企画説明と、講演者に対し感謝の言葉があった。

(7) 台湾大学訪問について（資料 11）

遠藤委員より、コンソーシアムと台湾大学との連携可能性を検討するため、3 月 27 日にコンソーシアムメンバーで台湾大学を訪問する予定である旨説明があった。

(8) 台北市ツアーについて

Li 委員より、3 月 27 日に台北市政府の緊急オペレーションセンターに訪問・見学する予定である旨説明があった。

(9) セコム台湾ツアー

平岡氏より、3 月 27 日にセコム台湾を訪問し、事業説明を受けた後、コントロールセンターを見学する予定である旨説明があった。

(10) その他

なし

以 上